

仕入業務効率化RPAシステム開発及び導入による生産性向上事業

導入ツール・取組みの効果

RPAシステム開発及び導入

- 仕入業務効率化
- 作業ミスや残業時間の削減
- 人手不足の解消
- 担当者の精神的負担の軽減

富田マテックス株式会社

卸売業(パッキン・ガスケット等の加工、シリコン開発、工業用品、鉄道備品等の販売)

多様な強みで地域社会に貢献

昭和29年、JR東日本の車両部品の代理店販売からスタートし今年で70周年を迎える富田マテックス株式会社。material(材料)と2つのquality(会社品質と社員品質)をコンセプトに事業を拡大してきました。

東北一の在庫数を誇るガスケット・パッキン事業や、義手・義足として人肌の柔らかさと強度を有した特殊シリコン素材を活用するシリコン事業など、さまざまなものづくりを通して地域社会の発展に貢献しています。

大量・単純作業だからこそRPA

商品を受注してから、「仕入発注→売上処理→仕入処理」までの作業量が多いため、ミスや残業が発生する課題がありました。作業は2人の経理職員で対応するため、例えば担当者が休暇を取得するとその分業務が停滞していました。

そのような折に本補助金の情報を得て、それをきっかけに業務を自動化するITツール「RPA」を導入。作業時間の大幅なカットに成功しました。RPAとは、人間があらかじめプログラムした通りの作業手順を、ロボットが処理するシステムです。人間は単調な作業ほどミスをしやすくなりますが、システムはその反対です。弊社の課題を解決する上では、RPAを導入することが最適解ではないかと思いました。一日という限られた時間の中で、いかに効率よく業務に取り組めるか。これからは管理者としてさまざまな試みを実施していきたいと考えています。

成功のカギは業務フローの洗い出しと現場への丁寧な説明

RPAは初期費用がかかりますので当初は導入をためらっていましたが、本補助金の情報を得て、費用対効果も含め、長い目で見ればとても良い施策なのではないかと感じ、導入を決断することができました。

システムを導入する上で一番大変だったことは、「手作業でこなしていた業務の、どの部分をどのように機械に処理させるか」考えること。まずはシステム担当者が一から業務フローを洗い出し、機械で作業を行えるかどうか、切り分けを行いました。



代表取締役社長
富田 淳一郎さん



また、社内に新しいシステムを導入する際は、現場の理解と協力を得ることが重要ですので、経理職員に対して、操作方法について丁寧に説明することも心がけました。

働きやすい環境実現で社内全体のモチベーションアップ

RPAを導入したことで作業時間を50%削減でき、経理職員は空いた時間で他の業務をこなせるようになるなど、時間の有効活用ができるようになりました。残業解消のほか、業務の停滞も予防できるようになり、経理職員が気軽に有給休暇を取得できる環境が実現。社内全体のモチベーションアップにも貢献していると実感しています。

今後はこのシステムを横展開することで他の業務改善も行い、生産性の向上に生かしていきたいと考えています。

企業概要

富田マテックス株式会社
〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町1丁目17-26
TEL: 022-212-1171
<https://www.tomimateqs.co.jp/>



本事例の詳細はホームページをご覧ください。
https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/digital_case/004.html



TOMITA MATEQS COMPANY

Google Workspaceを導入した情報管理とツール集約による業務効率化

導入ツール・取組みの効果

「Google Workspace Business Standard」の導入

- 会社全体で200時間近くの作業時間軽減に成功
- 代替可能となった旧ツールを解約することで経費節減
- データ管理の属人化の防止と、引継ぎや全体への情報共有のスムーズ化に成功

株式会社 Pallet

組織開発コンサルティング・コーチングスクール運営・地域共創事業

社会のニーズに応えた事業を展開

「株式会社Pallet」は、組織開発コンサルティング(組織づくり)、コーチングスクール運営(人づくり)、地域共創事業(まちづくり)という3つの事業を柱としています。特に「組織づくり」のニーズが高まっており、本事業では半年から1年という時間をかけ、組織の課題解決に力を尽くしています。

中心となるのはコーチングコミュニケーションスキルを持つ当社メンバーと外部コーチたち。創業当初は4名ほどでスタートした事業も、いまや全国に100人超のメンバーを抱える大所帯へと成長しました。

事業成長とともに想定外の困りごとが…

当社では業務提携している全国各地の外部コーチと無料のGoogleドライブでファイル管理を行っていましたが、事業成長とともにドライブ自体の容量がひっ迫するようになり、また、運営側でメンバーアカウントを一元管理できず、アクセスは各個人のアカウントから行っていたため、業務提携終了後も運営側でアカウント削除できないというセキュリティ面の問題も生じてきました。またリモート会議の増加による「zoomアカウントの不足」や外部サーバが発行する独自ドメインのメールをGmailへ一旦転送する形で使用していたために、なりすましメールと判断され「送付したメールがお客様側のサーバではじかれてエラーで戻ってきてしまう」ということにも頭を悩ませていました。

対策を検討した上で、行きついた答えが情報管理ツール「Google Workspace Business Standard」。横断的なサービスを提供しており、「共有ドライブによる情報の一元管理と集約、容量の確保」「セキュリティ強化」「カレンダー共有とオンライン会議ツール『Google Meet』の活用」「独自ドメインの取得」でこれまでのすべての問題が解決できると判断しました。

大所帯の移行作業

メールサーバや共有ドライブなどが一気に切り替わるため、漏れがないよう徹底した移行アナウンスが必要でした。作業に対する問い合わせ対応や運用ルール決めなど、導入準備にも



広報担当
小向 祐子さん



追われることにもなりましたが、メンバーが積極的に協力してくれたおかげで、計画的に乗り切ることができました。

ツール導入で不安を解消

今回、新たなITツールを導入したことですべての課題を解決できました。共有ドライブの容量も当分心配なくなり、管理者が一元的にアカウント管理もすることができました。メールが届かないというトラブルもなくなりました。

一番のメリットはオンライン会議。これまでのzoomでの会議に比べてかかる手間が格段に簡便化されました。不要となったサービスの解約などで経費削減にもつながりました。このツールにはほかにも便利な機能が備わっているようなので、今後も積極的に活用していきたいと考えています。

企業概要

株式会社Pallet
〒982-0841
宮城県仙台市太白区向山4丁目18-7
canvas107号
TEL: 080-5489-1060(代)
<https://pallet.work/>



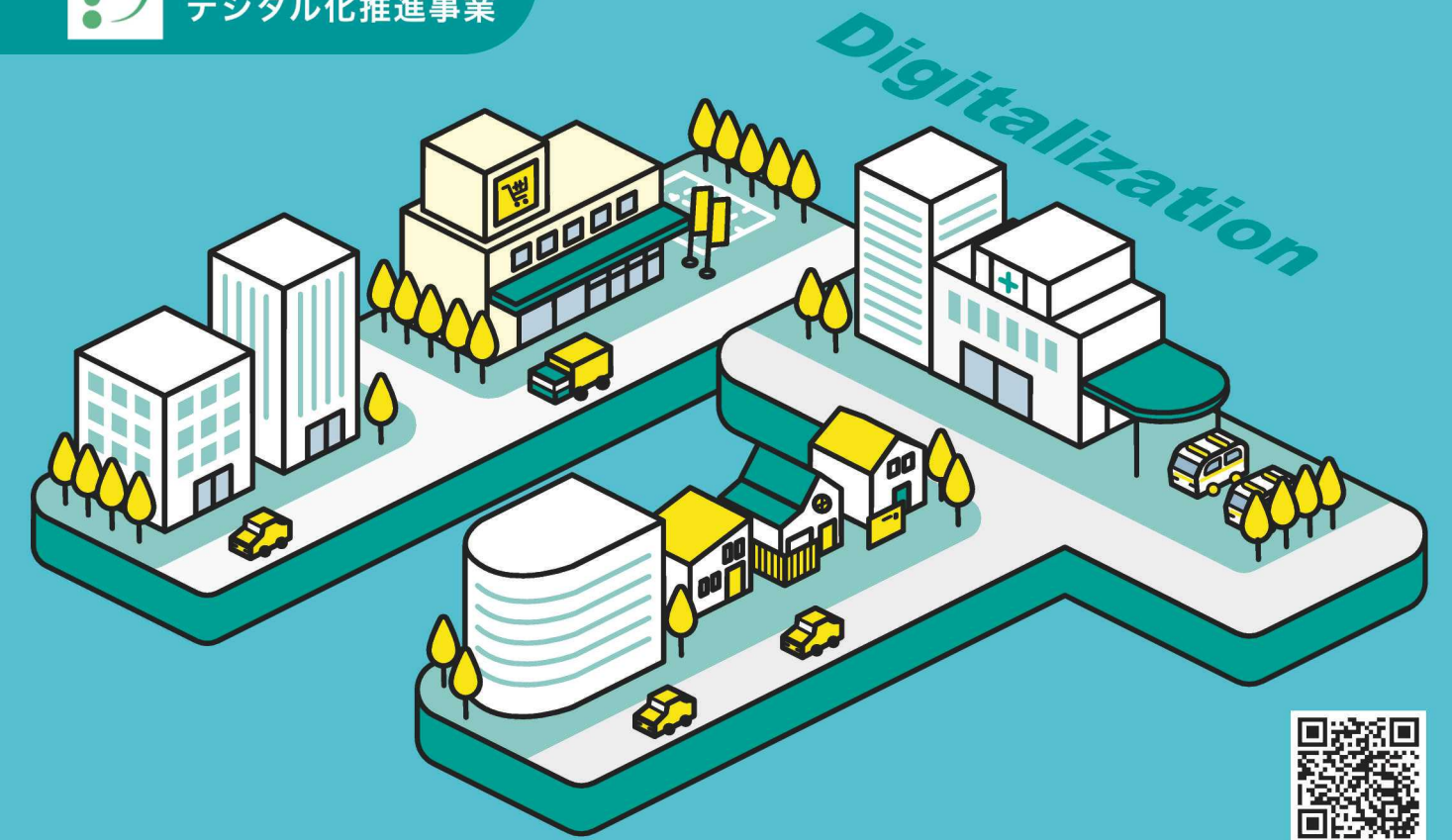
本事例の詳細はホームページをご覧ください。
https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/digital_case/005.html



PALLET COMPANY



仙台市地域企業
デジタル化推進事業



各事例の詳細はホームページをご覧ください。
https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/digital_case/



デジタル化に取り組む中小企業を応援！

仙台市地域企業 デジタル化推進補助金 活用事例集 2023

本事業では、地域中小企業が業務のデジタル化を通して事業の継続や更なる成長を実現することを目的に、専門家によるコンサルティングを受けながらITツール等を活用して、生産性向上・競争力強化に取り組むための経費の補助を行いました。本紙においてはこの補助金を活用してデジタル化の新たな取り組みを行った事業者の一例をご紹介します。自社の業務にどのような課題を抱え、ITツールを導入することでどう解決できたか、取り組みにあたってのご苦労なども織り交ぜながらお伝えします。

本事例集が地域中小企業の課題解決、デジタル化への取り組みのお役に立てば幸いです。



公益財団法人仙台市産業振興事業団
仙台市青葉区中央1丁目3番1号 AER7階
TEL: 022-724-1122
WEB: <https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/>

当事業団では、地域中小企業の皆様の経営課題解決に向けて、IT導入・利活用支援のほかにも、さまざまな分野の専門家にご相談承っています。何度ご利用いただいても無料。お気軽にご相談ください。

2024年3月発行

POSレジを導入したインボイス対応と管理コストの削減

導入ツール・取組みの効果

POSレジシステムと管理用タブレットの導入

- レジ、領収書発行、在庫管理業務が効率化でき、担当者の従事時間を2割削減
- PCからの請求書発行も可能になり、従事時間が1割減

株式会社石井商工

製造業・小売業(左官道具、金属製品製造・修理・リース)

左官工の信頼に応える老舗店

令和5年に創業50周年を迎えた「株式会社石井商工」。当初は鉄工業でスタートしましたが、今では左官工向けの道具販売が事業の柱となっています。特に、左官鏝(さかごて)の取扱いは東北トップクラスの品揃えを誇ります。常時数社のメーカーを取扱い、一部オーダーメイドにも対応するなど、使う目的に応じて形や大きさの違う鏝をいくつも揃え、微妙な使い心地を追及するプロの左官工のニーズに応えて、長年堅調な経営を続けています。

手打ちレジでの商品管理に限界を感じたときに

商品管理に手間がかかり過ぎることが課題でした。手打ちの旧式レジだったために商品登録ができず、売れた商品はすべて手書き伝票で管理。ミスが発生するたび、帳簿にまとめる際も「何をどう間違えたのか」と考えながら修正しなくてはならず、時間を取られていました。領収書の発行も手作業だったため、お客様をお待たせしてしまう点も気にかけていましたし、2023年10月からはインボイス制度に対応する必要もあり、限界を感じ始めていたんです。

そんな折に本補助金のセミナー案内をいただき、「まさに私たちのためのサポートだ!」と、直感しました。セミナー内ではシステムの選定について助言もいただき、申請を決意。「POSレジシステム」と、それと連動した「管理用タブレット」を導入しました。品番と金額の情報が登録されたバーコードをリーダーで読み取り、金額や販売商品をタブレットで表示させることができるので、レジを通すと、「どの商品がいつ、いくつ、いくらで売れたか」を自動管理できます。

もっと早く導入しておけばよかった!

導入に際しては大変な点もほとんどなく、POSレジへの移行は比較的スムーズで、スタッフも安心し自信を持つことができました。品番や金額の登録も、これまで販売ソフトで管理していた帳簿と紐づけるだけでしたから、さほど手間はかかりませんでしたし「もっと早く導入しておけばよかった!」と思ったぐらいです。



常務取締役
石井 ミフさん

企業概要

株式会社石井商工
本社/〒980-0811
宮城県仙台市青葉区一番町1丁目11-23
TEL: 022-227-3236
六丁の目店・工場/〒984-0011
宮城県仙台市若林区六丁の目西町3-45
TEL: 022-288-5757
https://ishii-shoukou.com/

本事例の詳細はホームページをご覧ください。
https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/digital_case/001.html



CLICK HERE 

ISHII SHOUKOU COMPANY

WEBで新鮮な生牡蠣が買える!飲食店舗の通販サイト改修と新規顧客獲得に向けたSNS運用

導入ツール・取組みの効果

WordPress導入による通販サイトのリニューアル

- 季節性のある新規商品の投入が可能に
- 自社のこだわり(生牡蠣のおいしさ、仕入れのこだわりなど)を訴求
- 新着情報をリアルタイムに自社で更新

Instagram広告

- シズル感のある生牡蠣の画像で通販サイトのリニューアルを告知
- 通販サイトの売上が上昇
- Instagramのリーチ数が通常の140倍、フォロワー数も100人増加
- 商圏の広がりが(関東、関西、北海道へ)
- 通販サイトの案内をすることで来店者との接点も増え、店舗売上も向上

株式会社かきや

水産物(生鮮食品、加工品、冷凍食品)仲卸、飲食店の経営、EC事業

全国の皆様に三陸の海の幸を届けたい

昭和28年創業の水産物仲卸業「株式会社かきや」は、牡蠣をはじめ地元で仕入れた新鮮な魚介を取扱い、平成18年には飲食店「かきや NO KAKIYA」を開店、平成20年には水産市場の流通を生かして新鮮な水産物を届けるECサイトの運営もスタートさせました。

お客様一人ひとりに美味しい海の幸を届けるため、常に前へ進む姿勢を持ち続け老舗店は挑戦を続けています。

コロナ禍で生じた2つの課題に

コロナの影響で飲食店の売上が大幅に落ちてしまったため、その巢籠もり需要を見越してECサイトの充実を図ろうとしたものの、ECサイトのサポートが終了して情報更新ができない状況に。サイトの更新が滞り、商品の受注件数も横ばいになってしまいました。そんな折、本補助金の情報提供を受け、当社のHPの管理運用をお願いしていたWEB制作会社と課題を共有し、自社内でも手軽に情報更新が可能なCMSツール「WordPress」を用いたECサイトのリニューアルに取組むことにしました。

同時に、全国に向けて自社商品を宣伝するためInstagram広告の活用にも挑戦しました。

“ユーザー目線”を意識し課題に取組む

サイトの作り込みには閲覧者の視線の動きに沿ったデザインや、簡潔に商品の魅力を文章で表現する工夫など特に頭を悩ませました。悩み過ぎてサイト制作スケジュールが遅れてしまい、ギリギリのタイミングで完成。サイト同様、Instagram広告の写真も“映え”を意識しながら、どのように写真を使えば商品の良さを伝えることができるか、光の当て方やシズル感の出し方などを独学で学び、自分で撮影して広告を作りました。



代表取締役
内海 知洋さん

企業概要

株式会社かきや
〒984-0015
宮城県仙台市若林区卸町4丁目3-1
TEL: 022-232-8678
https://kakiya-sendai.jp/

本事例の詳細はホームページをご覧ください。
https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/digital_case/002.html



CLICK HERE 

KAKIYA COMPANY

デジタルタコグラフ(運行記録計)の導入によるドライバーの動態管理、労務管理、安全管理の運用開始

導入ツール・取組みの効果

パラセメント車(粉粒体運搬車)5台にデジタルタコグラフを導入

- データ確認の時間削減
- 走行中の事故削減
- 燃費改善
- 車両の動態管理
- より多くのデータが集計可能

仙台陸運株式会社

運送業(セメント、食品、消火器、ポンプ)

運送業界の変革にも柔軟に対応

「仙台陸運株式会社」は昭和29年に事業をスタートし、今年で創業70周年を迎えます。事業拠点は2カ所あり、卸町の仙台支店では主に食品、消火器、ポンプなどを取扱い、仙台港営業所では、セメント輸送を専門に行っています。

令和6年4月からトラックドライバーの労働時間に上限が設けられたことに伴い、運送業界内では2024年問題への対応と加速化するデジタル化への取組みを進めているところです。

ドライバーの労働状況を「公平に見える化」

従来のアナログタコメーター(以下アナタコ)と手書きによる日報だけでは、仕事の取組み方や休憩の取得状況、そのドライバーの特性や運転傾向を踏まえた運転の評価などを「公平に見える化」することは難しく、2024年問題を視野に入れた社内教育や運転指導、残業時間の把握といった取組みが行いにくいという課題がありました。

そこで、本補助金を活用して仙台港営業所のパラセメント車15台のうち先行して5台にデジタルタコグラフ(以下デジタコ)を導入することにしました。

デジタコへの過渡期の中で

ドライバーはデジタコのボタン操作をするだけで日報を記入する必要がなくなりますが、全車両への導入が進んでいないため、現在はアナタコベースでの手作業が必要で、業務管理もやや煩雑になっています。また、導入が進むにつれ、ボタン操作が面倒、運転を管理されている感じが強まるなど、ドライバーからの反発も想定されます。

指導すること自体が目的ではなく、数値化により意識してもらうことで安全運転につながるようデジタコ導入の意義を理解してもらうことが大切だと考えています。



総務管理部副部長
古川 勝英さん

安全で環境にもやさしい運転を目指して

アナタコに比べて細かくスピーディーな分析が可能となり、配車担当者の業務時間が1日当たり1時間15分の削減に。ドライバーの運転状況も可視化できるため、そのデータを活用することで安全運転の周知徹底と事故削減に向けた指導体制作りが実現できました。また、急加減速時に警告音が鳴る設定でドライバーに注意を促すことで、結果として燃費向上にもつながっています。

デジタコ未設置車両への導入を計画的に進め、集計可能となった運行記録をドライバーの安全教育に役立てながら省燃費走行の定着化など経費を抑え環境にも優しい運用を進めていきます。

企業概要

仙台陸運株式会社
本社・仙台支店/〒984-0015
宮城県仙台市若林区卸町4丁目4番地
TEL: 022-782-7272
UBE三菱セメント事業部/〒983-0001
宮城県仙台市宮城野区港4丁目3-2
TEL: 022-258-1577
https://rikuun44.jimdofree.com

本事例の詳細はホームページをご覧ください。
https://www.siip.city.sendai.jp/ouen/digital_case/003.html



CLICK HERE 

SENDAI RIKUUN COMPANY